

周南JC

[山口県]

LOM統合5周年を終えて、 新たなスタートを シニア一丸で強力支援



創立5周年OB・現役祝賀会 鏡割りセレモニー



歴代理事長に感謝状の贈呈



現役の卒会式にてシニアクラブへの入会勧誘

周南JCは、地域の市町村合併にさきがけて、2002年8月に1957年設立の徳山青年会議所（認証番号・111号）と、1966年設立の下松青年会議所（認証番号・333号）が統合して、全国で777番目のLOMとして新たな活動をはじめました。「111+333↓777」となんとも語呂の良いスタートとなりましたが、それぞれ、46年と37年の歴史を重ねてきた2つのLOMが一緒になる過程は、糺余曲折の連続でした。

周南は古くから周防の国（長州藩は周防の国と長門の国、防長二国からなっていました）の南部を示す言葉として、瀬戸内海を望む

周南JCは、地域の市町村合併にさきがけて、2002年8月に1957年設立の徳山青年会議所（認証番号・111号）と、1966年設立の下松青年会議所（認証番号・333号）が統合して、全国で777番目のLOMとして新たな活動をはじめました。

広い地域を指していて、温暖な気候と山海の幸に恵まれた豊かなイメージを彷彿させてくれ、地域の総称として一般的に定着しています。

この周南エリアに位置する、合併前の徳山市・新南陽市・熊毛

市が最終段階で合併から離脱してしまい、下松市を除く2市2町の合併で2003年4月に周南市が誕生しました。これにより、周南JCの活動エリアは、周南市と下松市の2市にまたがるというようになりました。

現役のLOM統合に呼応して、OB会の名称が徳山JCシニアクラブのままでは、下松市在住の卒業生が入会しにくいでであろうといふ先輩方の寛大なお心遣いで、徳

町・鹿野町・下松市は、市民生活や産業経済活動も極めて結びつきが深く、徳山・下松両青年会議所の合併は、既存の枠にとらわれず、より高い可能性に挑戦するためには必然のものでありました。

行政の合併は、諸般の事情で下

松市が最終段階で合併から離脱してしまったが、現役の支援が最大の目的である」という共通の思いを持って、172名のメンバーが、入会候補者の紹介や事務局維持費の一部負担など物心両面で現役の活動をサポートしています。

山JCシニアクラブの名称を周南JCシニアクラブへ変更していました。

現在では、徳山・下松・周南という3LOMのOBが一堂に会するシニアクラブは現役の支援が最大の目的である」という共通の思いを持って、172名のメンバーが、入会候補者の紹介や事務局維持費の一部負担など物心両面で現役の活動をサポートしています。